

# 地域ごとのまちづくり計画 後期計画策定のポイント（案）

R6（2024）.11.13 宝塚市 市民協働推進課

## 後期計画策定3つのポイント

市からやり方や手順をまとめた  
ガイドラインを提供します！

市から様式を  
提供します！

	内容	作成するシート
ポイント①	R3～R7の5年間で、「 <u>地域（まち）の将来像</u> 」や「 <u>基本目標</u> 」の実現に向けてどれくらい進んだかを、 <u>4段階評価</u> してください。	第2期 地域ごとのまちづくり計画 前期（R3～R7）ふりかえりシート
ポイント②	現在の「 <u>具体的な取り組み</u> 」を次の5年（R8～R12）へ、 <u>継続するか、変更するか、終了（削除）するか</u> を検討してください。	令和7年度進捗確認シート 兼 後期計画シート
ポイント③	<u>必要に応じて新しい「具体的な取り組み」</u> を追加してください。	取り組み追加シート （※追加する取り組みがある場合のみ作成）

## 策定の進め方

まち協

1～3回の話し合いをして、策定  
（令和7年度に、毎年実施している計画の進捗確認と併せて取り組みをお願いします。）

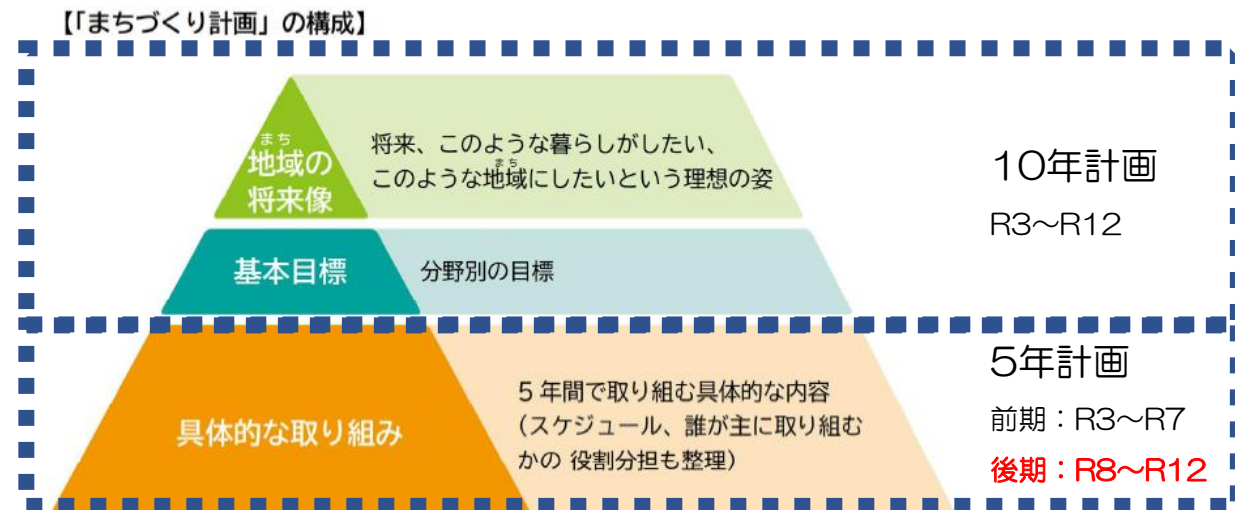
市

協働の取組推進担当次長と地域担当職員  
が話し合いの場に出席して、協働で取り組みます。

# 参考：地域ごとのまちづくり計画とは？

## まちづくり計画とは？

- ・市内20のすべてのまちづくり協議会において、市民自らが地域の現状や課題、ニーズを踏まえ、将来像を描き共有しながら、基本目標や具体的な取り組み等を取りまとめた計画です。
- ・地域ごとのまちづくり計画を、市の最上位計画である第6次宝塚市総合計画の一編として位置付けています。



## なぜ、まちづくりに計画が必要？

- ①地域課題や取り組みを整理し、見える化することができます。
- ②地域の住民や団体等に計画を知ってもらうことで、計画の実現に向けた体制づくり・仲間づくりにつながります。
- ③地域課題や取り組みを、行政と共有することができます。



まちキョン

計画の実現に向けて、各まち協に市の幹部職である次長級職員を  
「協働の取組推進担当次長」として配置し、協働で計画を進めています。